

〈学力向上に向けての取り組み〉

(4)年 30年度1学期

<p>実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間には、みんな遊びなど外で活発に遊ぶ児童が多い。</li> <li>・当番活動や係活動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・漢字学習では、丁寧に集中して書く児童とそうでない児童の差が大きい。</li> <li>・進んで発表する子が多いが、意見に対するやり取りは少ない。</li> <li>・わからない問題に対して諦めてしまう児童がでてきている。</li> <li>・算数のいくつかの単元において、定着していない児童がいる。</li> </ul>
<p>教科学力</p>	<p>重点指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の中で自分の考えを伝えたり話し合ったりする中で、考えを伝えるような場（朝の会での日直スピーチ、ペアや小グループでの話し合いなど）の設定を意図的に入れていく。</li> <li>・文章作成力や多様な文章表現ができるようになるために一行日記や視写を行う。また、読解力や語彙力をつけるために、漢字学習の時間において国語辞典や漢字辞典を用いて言葉の意味を調べ、どのように使ったらいいのか短い文章を作成して、使い方を習得させる。</li> <li>・話すとき、聞くときの態度・姿勢について身に付けることができるように、「話し方かきくけこ」「聞き方あいうえお」を掲示し、指導する。</li> <li>・算数では前学年の単元の復習プリントも活用し、繰り返し行いながら力を伸ばしていく。</li> <li>・課題について、グループ→全体で話し合いをさせ、聞く力や伝え合う力を養う。また、全体で出た考えをもとに、振り返る話し合いをする。</li> </ul>
	<p>家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読（週末は20分間読書）・漢字学習・計算学習を、ほぼ毎日出し、家庭学習の基礎を養う。また、現単元だけでなく、前学年の単元の復習プリントを活用することで理解の定着を図る。</li> <li>・自主学習ノートを活用し、予習や復習、調べ学習、日記、など自分で課題を選び、学習することができるよう指導する。</li> </ul>
<p>学びの基礎力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五箇東スタンダードを定着できるよう継続して指導する。（特に、丁寧に文字を書くこと・授業開始時刻を守ること、話し方・聞き方など。）</li> <li>・東っ子健康カードを活用し、生活習慣を振り返るよう指導していく。</li> <li>・挨拶、廊下歩行、靴・スリッパの並べ方、清掃の指導を継続的に行う。</li> <li>・東っ子のノートの使い方を元に、わかりやすいノートづくりの指導をする。</li> <li>・読書ノートを活用して読書量を増やすよう促す。</li> <li>・漢字を確実に習得させるため10問テストを繰り返し行い、定着を図る。</li> </ul>
<p>社会的実践力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年目標「あい言葉～認め合い・学び合い・支え合い～」を様々な場面で意識させ、互いを高め合える集団作りを行っていく。</li> <li>・仲間づくり（ひまわり学級の児童を含めた仲間づくりやみんな遊び）を推進する。</li> <li>・終わりの会の「今日のあい」で、友だちのがんばりや良いところを見つけて、互いを認め合い、自己肯定感を育てていく。</li> <li>・行事に合わせて実行委員を決め、主体的に活動していけるように指導していく。</li> </ul>